

『パソコン資産ビューアサービス』

インターネットツールによる IT 資産の管理と台帳作成支援

■ はじめに

IT 資産管理は、2006 年 5 月に国際標準規格 ISO/IEC 19770-1:2006 となり、今は世界的な潮流で啓蒙が進んでいます。ようやく日本でも、今年 5 月には日本工業規格 JIS X 0164-1:2010（ソフトウェア資産管理—第 1 部：プロセス）となり、以前よりもソフトウェア資産管理の取り組みが急務となってきました。

日本においても政府の IT 戦略の元で、2006 年には超高速インターネット利用設備が普及し、今や衣食住に次いでコモディティ化した情報通信手段、とりわけパソコンは大変便利な道具となりました。この結果、企業から官公庁、自治体、公共機関、大学、学校、病院、SOHOS、NPO 法人、更には家庭内にも膨大なパソコン資産が蓄積されています。

一方、安心安全の観点からは、IT 弱者を狙うウィルスの危険に晒されるようになっており、パソコン資産の状態を常に確認・監視して、健全な状態を維持する必要性が生じています。

健全な状態を維持するためには、定期的な IT 資産の棚卸しが必要です。簡単に言うと、どのようなパソコンが何台あって、各パソコンにはどのようなソフトがインストールされているのか、またそのソフトはどのように契約して所有したのかを調べることです。

この IT 資産の管理プロセスを標準化したものが、『ソフトウェア資産管理—第 1 部：プロセス』です。この規格書では、以下のように引用されています。

a) 次のようなアクセス制御を含んだ、在庫及び物理的または電子的な保管先の管理・保守を含む、方針及び手順が策定され、承認され、発行される。

- 1) 認可されていないアクセス、変更または改変から保護する。
- 2) 災害復旧手段を提供する。

b) 在庫として次のものがある。

- 1) ソフトウェア資産のインストールまたは実行が可能なすべてのプラットフォーム
- 2) 認可を得てインストールされているすべてのソフトウェア
- 3) 保有している基本ライセンス及び有効フルライセンス

c) 在庫に対応する物理的または電子的な管理対象として次のものがある。

- 1) ソフトウェア（確定版原本及び配布用写し）
- 2) ソフトウェアのビルド及びリリース（原本及び配布用写し）
- 3) ソフトウェア資産に関する契約（紙及び電子版の両方）
- 4) 使用許諾を証明する文書

パソコン資産ビューアサービス

■ サービスの概要

前述の成果を得るための入口として、また、“ソフトウェア資産の在庫管理”プロセス導入に必要となる手間・時間を削減する一助として、インターネット上のツール「パソコン資産ビューア」によって各種台帳作成を支援するサービスをご提供いたします。

1. サービス開始時、お客様と弊社間で守秘義務契約を締結し、一定のルールのもとで弊社インターネットツール「パソコン資産ビューア」を使用することができます。
2. 本ツールはお客様向けに専用のパスワードを発行し、サービス開始から終了までは、そのパスワードを排他制御することにより、お客様が弊社のツールシステムを占有します。
3. サービス使用中はお客様のパソコン情報のみが、本ツールのデータベースに蓄積されます。(他の情報と混在しません。)
4. サービス使用中はお客様だけが、データベース自身のデータを加工します(※注1)。
5. お客様は、本ツールで採取した在庫データファイルと、お客様自身がツールを使用して加工した管理台帳ファイルを、オンラインでダウンロードします。
6. サービス終了時にはパスワードが無効となり、同時に弊社ツールシステムからお客様のパソコンに関する情報をすべて削除します。

※注1. ツールシステムが用意したスクリプトを加工(カスタマイズ)して、お客様自身が実行すること。

■ 専用ツール「パソコン資産ビューア」の特徴

- 専用ソフトのインストール不要
- Windowsに加え、Mac OS 10.4以降にも対応
- ご希望により、英語版・中国語版パソコンにも対応

■ ご注文、お問い合わせ

下記までご連絡ください。

株式会社クロストーク

所在地 広島市南区翠 1-9-20

電話 082-256-6511

FAX 082-256-8883